

滿洲建築協會雜誌



B
34

1

東京都港区芝5丁目26番20号
(社)日本建築学会図書室
〒108 電話 (03) 456-2019

第十二卷・第一號
社團法人滿洲建築協會

昭和九年一月十五日發行 同十五日發行

年 新 賀 謹

ホロータイル

フェイスブリック

礦 滓 カ ッ ト

鋪 道 煉 瓦

スクラッチタイル

カ ッ ト タ イ ル

機 械 製 煉 瓦

普 通 煉 瓦

專賣
特許 鐵 筋 煉 瓦

營 口 煉 瓦 製 造 所

大 連 工 場	大 連 市 管 內 西 山 會 三 春 柳 一 電 話 九 〇 九 七 番
周 水 工 場	大 連 市 管 內 周 水 屯 周 家 屯
大 連 出 張 所	大 連 市 越 後 町 二 八 電 話 三 九 〇 五 番
馬 車 配 給 所	大 連 市 財 神 街 三 電 話 七 七 五 八 番

滿洲建築協會雜誌

第 十 二 卷 號

目 次

卷 頭 圖 版

大連の門・塀・ポーチ

大連亞米利加領事館

本 文

- 時局に直面して協會員諸氏に告ぐ…………… 小 野 木 孝 治…(1)
- 在滿邦人の住居に就いて……………醫學博士 遠 藤 繁 清…(6)
- 羽衣女學校崩壞事件に鑑みて所感あり(上)…………… 岡 大 路…(13)
- 新規格煉瓦に就て…………… 長 倉 不 二 夫…(19)
- 材料から見た大連住宅の門と塀の姿…………… 山 邊 鋼…(29)
- 大連亞米利加領事館新築工事概要……………(33)
- 滿洲で見る門…………… 村 田 治 郎…(34)
- 門の偉と美 北平所見…………… 市 川 公 平…(41)
渡 邊 綱 太 郎
- 門 門制・門神・門對等…………… 伊 藤 清 造…(49)
- 屠蘇機嫌の或るグループ…………… 田 子 の 浦 ゆ…(59)
- 私の住家…………… 福 岡 庄 一 郎…(61)

會 報

- 交換圖書……………(69)
- 表紙意匠…………… I S H I D A
- 編輯後記…………… 同 人(目次裏)

□謹賀新年

□多事多難なりし昭和六年逝いて吾等は茲に最も意義深く昭和七年の新春を迎えた。滿蒙時局尙全く解結するに至らずと雖も、視よ、黎明既に臻り、三千萬民衆は希望に輝いてゐる。吁！昭和七年！眞に滿蒙ユートピア建設の紀元たらしめよ。

□昭和六年、それは建築界にとつては、その凡ゆる方面に於て不況の最高潮に達した年であつたらう。建設企業に對する滿鐵の退嬰的態度が斯界の活氣を阻害したことは言はずもがな、民間に於ても工事件數に於ては相當の量に上つて居りながら、工費安に苦められて、畢竟骨折損に過ぎぬ感があつた。かうした時代に建築の實質低下は當然のことであつたかも知れぬ。

□羽衣校の崩壞事件、それは逝く年と共に吾等の記憶から葬り去らるべく餘りにも生々しい悲惨事ではあつた。而して之れは正に滿洲建築界多年の積弊が此の不況の最高潮に於て餘儀なく曝露せしめられたものであるとは、例外なく萬人の合點するところであつた。

□小野木會長が久方振りに其の巻頭に獅子吼せられ、岡副會長が斷然その所信を披瀝せられたるも、共に之れ此の時代と此の環境とに處して、此の一年をして滿洲新建築史上に光輝ある記録を止めしめんとする意意に外ならぬのである。

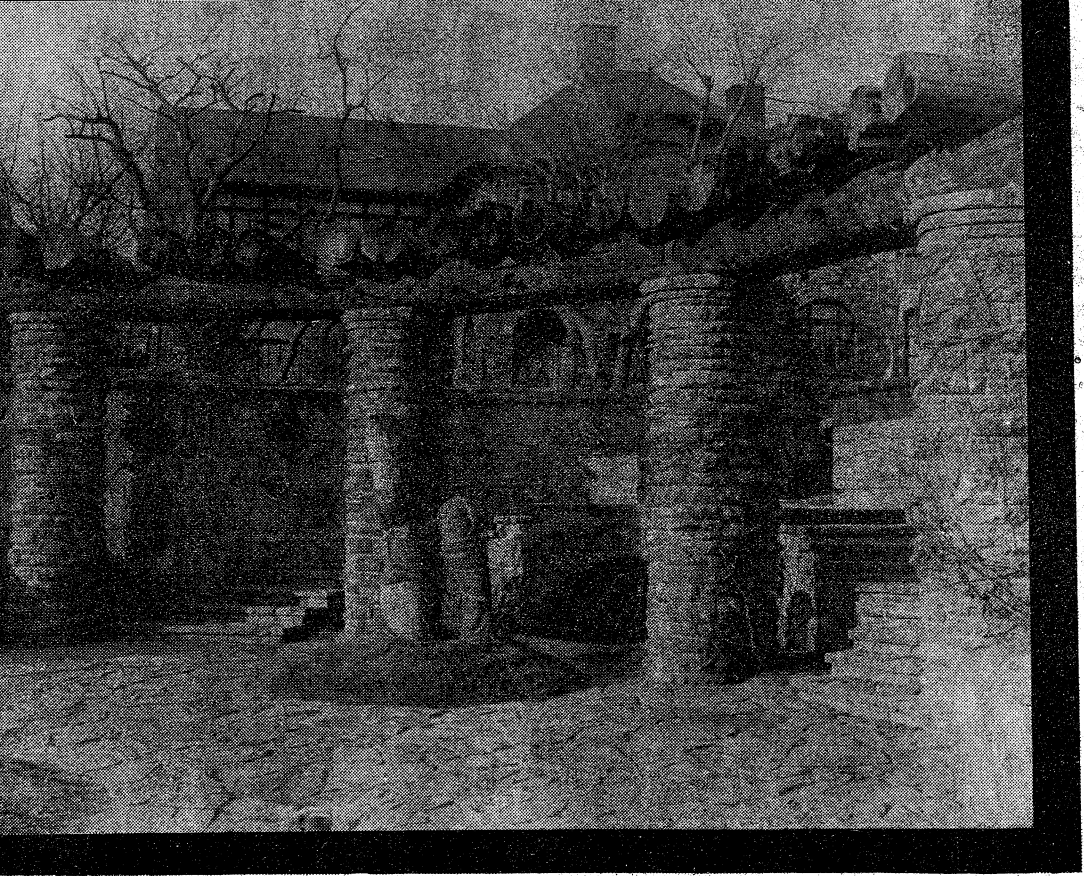
□本號は豫てからお正月氣分に因んで門・堀・ポーチといふ様なものに就いて特輯を試み度いと考へられたのであるが、何分年末を控えて三月分の雜誌を作らなければならぬといふ始末で、意あつて力足らず、特輯といふには餘りに不徹底なものとなつて仕舞つた譯であるが、而も其の實質的價値に於ては昭和七年の年頭、各位の机上に見えて意義淺からざるものがある事を確信するものである。

□「門の偉と美」それは昭和六年三月本協會が催した北支視察團の一行が北平視察中、到る處監視兵に脅かされ乍ら市川、渡邊の兩氏が苦心盜撮つて來た北平古建築コレクションの中から、門に因みあるものを拾録したものである。牌樓が建築史的に門の仲間に入るか否かは知らぬが、當時の兩君の苦心の土産として此の機會に紹介に及んだ譯である。

□新建築としての巻頭圖版紹介には、扇芳ビルを豫定してゐたのであるが竣工が二十日であつたので寫眞の撮影が遅れ土俵際で足を出して仕舞つたのは誠に遺憾であつた。勿論次號に於て紹介の積りである。

□例年掲載し來つた役員の年賀は本年特に自家サインにより、其の意義を深かゝらしめようとしたのであるが、全部のサインを得られなかつたのは遺憾であつた。本會役員年賀であるから、普通活字を以て未着の分を間に合せた事を諒解せられ度い。

昭和六年十二月二十四日夕



12-1

大連の門・塀・ポ一チ